

情報連携に係る要望調査票の入力手順

1. 障害児通所支援サービスごとにシートが分かれていますので、それぞれ入力してください。
すきっぷ様、山田特別支援学校様、学校教育班については、児童発達支援のシートは入力不要です。白ゆり様については、放課後等デイサービスのシートのみ入力ください。
幼保支援班は、放課後等デイサービスのシートは入力不要です。
 2. 機関名に所属の機関名を入力
 3. 自機関の列へは、入力不要です。
 4. 次に示すフェーズ毎に各機関に実施して欲しいこと、期待すること（既に実施されていることも構いません。）を入力してください。
「できる、できない」や「過剰な期待であるか、どうか」は、無視してください。「こうなれば助かる、スムーズに支援に繋がる。」と感じていることを入力ください。
どうしてこういう『連携』を期待するかについては、会の中で確認しますので、入力ただかなくても構いません（内容が伝わりにくい場合に、入力いただいても構いません。）。
 - 4.1. フェーズ1は、各機関が「保護者からサービス利用や障害への対応等の相談を受けたとき。」「サービス利用を利用したいとの意思表示があったとき。」に他機関へ期待することです。主に、早めに連絡を欲しい時となるので、福祉事務所、健康介護支援課や学校、保育園への要望が中心となると思います。
 - 4.2. フェーズ2は、利用者が福祉事務所での申請手続きを終えてから、支給決定されるまで（相談支援事業所が保護者と契約し、関係機関との事前調整を終え、個別支援会議を開催するまで）に他機関に期待することを入力ください。
恐らく、この部分が最も『連携』が重要となる部分です。後のトラブルは、この段階で、保護者の理解や保護者とサービス事業提供者（保育所等訪問においては、学校、保育園等）との間で意識共有できていないために発生していることが多いと思われます。
 - 4.3. フェーズ3は、サービス利用期間中に他機関に期待することを入力ください。
 - 4.4. フェーズ4は、サービスを終了する際に他機関に期待することを入力ください
 5. 「平時」の行については、特定の児童について以外の部分で、他機関に期待することを入力ください。事業内容の分かるパンフレットの提供やホームページの照会してほしい、研修会の開催や協力など。
- ※ 取りまとめの際に、同じような内容をまとめる、表現を統一するための編集を行いますのでご了承ください。

	福祉事務所	健康介護支援課	学校教育班 (小中学校)	幼保支援班 (保育園)	教育研究所	山田特別支援学校	相談支援事業所	サービス提供事業所	中央東福祉保健所	
福祉			<ul style="list-style-type: none"> ・利用の必要性や利用可能な頻度、利用開始時期等を検討いただきたい。 ・特別支援学級に在籍の場合は、なぜ、加えてサービスが必要かを検討いただきたい。 ・利用に当たっての受入態勢を検討いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・利用の必要性や利用可能な頻度、利用開始時期等を検討いただきたい。 ・加配がついている場合は、なぜ、加えてサービスが必要かを検討いただきたい。 ・利用に当たっての受入態勢を検討いただきたい。 		<ul style="list-style-type: none"> ・利用の必要性や利用可能な頻度、利用開始時期等を検討いただきたい。 ・特別支援学校であるにもかかわらず、利用の必要性がある理由について確認いただきたい。 ・利用に当たっての受入態勢を検討いただきたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・訪問先の施設と事前に調整（利用の必要性、利用目的）をお願いしたい。 ・サービス利用の目標の観点から、利用量、利用期間について関係者の意識の共有をお願いしたい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス内容について、利用者に十分説明をいただきたい。 ・サービス利用の目標の観点から、利用量、利用期間について利用者へ説明をお願いしたい。 		
健介								<ul style="list-style-type: none"> ・説明時に使用する言葉に注意いただきたい（専門用語など） ・保護者のベース（理解度等）に配慮いただきたい 		
学校								個別支援会議までに、保護者のニーズと実際のサービスプランの内容を受け入れ側と共有していただきたい。		
幼保		個別支援会議に幼保支援班職員（特別支援保育コーディネーター）も可能な限り参加させてもらいたい。						<ul style="list-style-type: none"> ・利用回数については、園側とも相談してほしい。 ・話し合いの内容によっては、保護者の前では伝え難いこともあるので保護者と別日が良い。 ・月1回の訪問は多過ぎるので減らしてほしい。 		
研究所										
山特								<ul style="list-style-type: none"> ・アセスメントを行ったうえで必要性の判断をしてほしい。 ・サービス開始に当たっては計画書を学校長宛に提出してほしい。 	サービス開始前に支援会議を行い、利用の必要性と頻度の検討、意識の共有をしたい。	
相談				利用者の必要性や日数を検討してほしい。	利用者の必要性や日数を検討してほしい。		利用者の必要性や日数を検討してほしい。		特別支援学校への訪問が必要かどうか見極めてほしい。	
事業所										
中央東		相談支援事業所と保護者、サービス提供事業者の関係がスムーズにいくようにフォローをお願いしたい。	必要に応じて園や学校訪問し、対象児の状況を福祉事務所にお伝えいただきたい。					サービス利用の必要性、頻度、期間について、保護者の希望だけでの決定にならないように各機関に十分調査して検討していただきたい。	<ul style="list-style-type: none"> ・サービス内容、頻度、期間を保護者に説明していただきたい。 ・専門職以外にもわかりやすい個別支援計画の作成をお願いしたい。 	